※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　環境科学科

教科	環境科学	科目	環境科学Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	生基 704「高校生物基礎」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」
人と自然について「生態系」や「環境保全」の視点で見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この2つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
生態系を維持する仕組みやヒトとの関わりなど基本的な概念、原理、法則について理解する。
【思考・判断・表現】
事象を科学的に探求する方法を習得するとともに、自身の考えを適切に他者へと伝える技術を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
自然環境や、そこに生息する多様な生物が決して自身と無関係ではないことを理解し、環境保全や破壊された環境を回復する取り組みに対し積極的に関わる態度や考え方を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生態系や環境についての観察・実験などを行うことを通して、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能が身に付いている。また、生態系の仕組みやヒトとの関わりなどの基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	生態系や環境を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、レポートを作成したり発表したりして、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生態系や環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題解決しようとする態度など、意欲的に探究しようとする態度が養われている。その際、生態系と気候の関係やと人間活動との関係を常に意識するなど、自然環境の保全に寄与する態度や科学的な考え方が身に付いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	生物の多様性と生態系	生態系 植生とその変化 遷移と土壌の影響 遷移のしくみ	a:陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。植生の遷移についてその過程を理解している。(定期考査) インターネットや文献などを用いて，調査する方法を習得している。(課題提出) b:植生の遷移が，光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。(定期考査) (発問評価・課題提出) c:資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。(発問評価・授業態度)	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物
2学期		植生とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a: 地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。生態系内における種多様性，生物どうしのかかわりあいについて理解している。生態系のバランスや，生態系の保全の重要性について理解している。(定期考査) インターネットや文献などを用いて，調査する方法を習得している。(課題提出) b: 生態系の保全の重要性について，生物の多様性の視点から考察することができる。(発問評価・課題提出) c: 資料に基づいて，バイオームが変化する要因を見いだし，その要因がバイオームにどのように影響するかを理解しようとする。生態系のバランスや，生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。(発問評価・授業態度)	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容(メモ書き等) ・提出物
3学期	生態系の保全と人間社会	人間の活動と生態系への影響	a: ヒトの活動が生態系にどのような影響を与えているか理解している。ヒトや社会が生態系からどのような利益を得ているか理解している。生態系を保全するために行われている国際的な取り組みを理解してい	小テスト、定期考査において授業で得た知識が	授業内の発問、定期考査において資料の読み	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記

※令和４年度以降入学生用

		生態系サービス 生態系の保全と国際的な取り組み	る。 b: 世界の環境問題について，情報を調査し，自分の考えをまとめ，表現することができる。生態系が失われることで人間社会にどのような影響が出るか考察することができる。（発問評価・課題提出） c:人間の活動が環境にどのような影響を及ぼしており、それが生物の絶滅や生態系の破壊とどのようにつながるか理解しようとする。またそれを生物種の絶滅や生態系の破壊を防ぐためには、どのような活動が必要となるか考えられる。（発問評価・授業態度）	定着しているか。	取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	入内容（メモ書き等） ・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度